

令和6年度4月教育委員会 会議録

開催日時		令和6年4月26日（金） 15:00～17:00
開催場所		早島町町民総合会館 2階 集会室
出席者	委員	白神敬祐教育長、栗坂祐子委員、市橋晃委員、岡本善弘委員、加藤和子委員
	事務局	吉見一成学校教育課長、芝原孝典生涯学習課長、貝原丈雄課長補佐
会議次第		1 開会 教育長あいさつ 自己紹介 2 協議 (1) 令和6年度の教育施策の概要について (2) その他 ・全国、県、町学力・学習状況調査 ・早島町立図書館利用統計報告 3 連絡 4 閉会
会議資料		
傍聴者		なし
会議録作成者		貝原丈雄

会議内容

1 開会 教育長あいさつ 白神教育長：昨年度も色々ご理解ご協力を賜りまして、教育委員会所管の事業が前に進むことが出来たと思っております。感謝申し上げます。今年度は新たに加藤委員さんをお迎えしています。 季節の変わり目ですので、皆様方も体調管理にお気をつけて頂ければと思います。昨年5月8日にコロナが5類に移行し、早いもので1年ほど経ちます。 今年度、ご案内の通り、早島町でも機構改革が行われています。教育委員会関係では特に業務内容等の変更はありませんが、グループ制がひかれておりまして、各課長さんが、グループ内の他の課の参事を兼務することになっています。教育委員会としては昨年度もそうでしたが、今年度も学校教育課、生涯学習課で行事等を互いに協力して実施したいと思っております。
--

当初予算関係のことを少し申し上げます。学校教育課関係では、幼稚園・小学校・中学校の給食費を昨年度の2学期以降、引き続き無償としています。安全で安心な給食の提供をしてまいります。幼稚園の支援員を1名増やし、指導体制の充実を図っています。小学校には教室にLED照明を完備し、防犯カメラの増設もして、安全安心の環境整備を進めます。小学校体育館の改築に向けて耐力度調査を行います。中学校では、デジタル防災学習システムを導入しまして、生徒の知識や防災意識の向上を図りたいと思います。

生涯学習課関係で大きいのは、ファジアーノからの負担付寄附の受納が12月議会で議決を得ましたので、今後は、社会体育施設の指定管理に向けた慎重な検討を重ね、6月議会で何らかの動きを出していかないと考えております。事前に皆様方には、進捗状況もご報告しながら進めたいと思います。学校園の様子としましては、今年は例年に比べて桜の開花が少し遅かったので、入学式入園式にどうにかもってきて天気も良かったです。小学校は井上校長先生に代わられています。新しい人事配置の下で新学期がスタートしております。入学式入園式で希望に満ちた子ども達の姿を見ることが出来ました。健やかな成長と健全育成に思いを馳せる時に、改めて職責の重大さを認識した次第です。

18日には全国及び岡山県の学力学習状況調査が実施をされております。今年度は、国や県で実施していない教科を町で実施する年となっております。小学校4年から中学校3年までの理科と社会、中学校3年の英語を実施しております。中学校の教科書採択について、昨年度は小学校の教科書採択で、今年度から新しい教科書を使っています。今年度は、令和7年度使用の中学校の教科用図書採択の年になっています。早島中学校の教科書については、早島町が倉敷地区に属してしまっていて、倉敷市・総社市・浅口市・里庄町・早島町の5市町で、共同採択となっています。7月の教育委員会で皆様にお諮りすることになります。県下7地区で、調査・研究・選定・採択が行われることになります。

おかやま教育懇談会については、資料を付けています。県教育長が変わり、重点方針として、新たな学びの実装化、不登校対策、県立高校の魅力化・体制整備、学校の働き方改革の4点が挙げられており、県教委の今年度の重点方針の不登校対策で、教育長さんが色々な意見を言われた話の中に、不登校になっている子ども達もいて、対応も増えています。そもそも、学校生活の基盤となる学級が魅力的な場所となっていれば、不登校などないのに、そうっていない現実があるからこうなっている。幼稚園ではあまり不登園は聞かないので、小学校に上がると勉強もプレッシャーになるのか、学習の遅れや友達関係、ご家庭での親子関係なども原因になるんだろうと思いますが、全国的にも県下的にも、不登校が増えている状況もあるので、色々な手立てを講じて対処療法的な

ことは、県教委も早島町もやっているけれども、学校そのものを魅力的な、子ども達が行きたいなと思える様な、全ての子どもに合った授業はなかなか一斉では難しいので、色々な作戦を講じて、どの子ども満足がいくものを作っていないといけない、そのような話がありました。

本日も議事等ありますので、慎重にご審議ご意見等を頂ければ、大変ありがたいと思います。今年度も、皆様方のご理解とご協力を頂きますよう、お願い申し上げます。開会のご挨拶とさせていただきます。

自己紹介

吉見課長：今月1日から、学校教育課課長に着任しています。どうぞよろしくお願い致します。

芝原課長：4月1日より、生涯学習課長に就いています。13年ぶりに生涯学習課に戻ってきました。生涯学習課課長以外に、公民館・ゆるびの舎・図書館長も兼任となっています。1年間どうぞよろしくお願い致します。

貝原課長補佐：学校教育課で教育委員会の会議の事務局を担当させて頂いております。3年目になります。どうぞよろしくお願い致します。

吉見課長：この場にはいませんが、指導主事の赤堀主幹、今年度新たに中学校から、高田指導係長を迎えて、学校教育課の新体制で仕事に取り組んで参ります。どうぞよろしくお願い致します。

栗坂委員：小学校の現場で仕事した後、岡山大学のほうで小学校教員の養成に9年ほど携わり、IPUの方にはまだ少し関わっています。随分現場を離れているので、しっかり新しい情報を取り入れた上で、皆さんと一緒に、早島の子ども達にとって楽しい学校生活が送れるようなお手伝いが出来たらと思っています。よろしくお願い致します。

市橋委員：小学生と高校生の子供がいます。子どもがいる委員が一人必要ということもあり、日ごろは税理士をしているので、教育現場はわからないことだらけですが、子どもを通じて感じたことを話していければと思います。よろしくお願い致します。

加藤委員：45年間、倉敷市の公立幼稚園に勤めていました。昨年度末まで倉敷市の新採用の指導に行っていました。子どもが大好きです。子どもの為に頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。

岡本委員：3年目になりました。若宮団地にいますので、今朝も横断歩道で子ども達を見送ってきました。挨拶以外にも、話しかけたり触れ合う中で、子ども達の表情を見ると、色々な思いをもって毎日学校に通っているんだなとわかります。長い間学級担任をしてきたので、子ども達の友だち関係が変わったなどか感じることもあります。面白くもあり、楽しくもあり、色々な情報がわかって、自分も窓口になり、元気のもとになっている気がします。自分の故郷である早島町の教育に関われるのも喜びかなと思い頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。

白神教育長：議事に入る前に、私の冒頭のあいさつのところで何かあればご意見ください。

加藤委員：早島幼稚園の支援員さんが一人増えたんだなと思いました。やはり支援を要する子が多いですか。

白神教育長：県では統計をとっていて、小学校中学校に、支援学級ではない通常学級で、少し配慮がいる子がどれだけいるのか調査をしています。中学校より小学校が人数が多く、幼稚園は支援学級がないのもっと多い。先生方の見立てでは3割くらいは支援がいるのかなという子供がいます。

加藤委員：各組に一人ずつの支援員さんですか。

白神教育長：今、6クラスあり、支援員さんは5人います。その他に1人園長補佐のような、フリーな感じで動ける方がいますので、結局どのクラスにも1人いる感じにはなっています。

栗坂委員：不登校と特別支援教育は切っても切り離せないところがあると思いますが、支援が頂ける環境に子ども達が居られることは、不登校を防ぐ意味でも利があることかなと思います。

白神教育長：早島は小中共に支援学級が多い。昨年度から特別支援学級専門性向上事業も活用しながらやっています。

岡本委員：先生方の研修なども、授業づくりにシフトしているのはわかりますが、教育書の所に「学級づくり」というタイトルで、子どもと触れ合ったり、楽しいイベントを組むなど、ヒントがいっぱいある本でした。学級を生き生きと楽しくするのが不登校を防ぐのかな。子どもたちにとって学級は、大人が考える以上に重要な世界なんだと昔から言われていたので、先生方も、授業の力と学級を作る力が並行して獲得できれば素晴らしいなと思います。

白神教育長：特に小学校は、ほぼほぼ1人の担任の先生がクラスの子供たちを指導するので、先生との人間関係もあるから、あの先生がいるから、友達がいるから行こうとか、何か学校へ引き付ける魅力がないと、なかなか子ども達も足が向かない。新規に不登校になる子ども達を出来るだけ減らしていく取り組みが必要なのかな。不登校になってしまうと、すぐに改善が難しく時間が掛かるので、気を配っていくことも必要かなと思います。

市橋委員：東京に居た時は、小学校のクラス替えが2年に1回でした。都道府県によって違うのでしょうか。岡山は全部1年に1回なのですか。

岡本委員：大阪で勤めた時は、2年に1回でした。小学校卒業の頃にはもう家族のようになっていました。人間関係が上手くいっていいんですが、中には衝突したり、合う合わないが出てくるから、やはり1年単位でクラス替えをした方がいいよねと、周囲の先生と話した覚えがあります。一長一短だと思います。

市橋委員：不登校は4月5月に発生しやすいイメージがありますが、自分が子どもだったら年に1度のクラス替えが楽しみで、誰と誰が一緒になったとか、新たに友達が出

来るなど、回数がある方がリスクヘッジになる気もします。

白神教育長：人数が少なくてクラス替えが出来ない環境の学校もあります。人間関係がぎくしゃくしてきた時に、それを何年間も同じクラスにしておくのもなかなか厳しいかもしれないし、替わる中で、その子の別の面が見えてきたり、離れることによってわかることもあるので、年に1度がいいのかなと思います。

2 議事・報告案件

(1) 令和6年度の教育施策の概要について

【資料説明：令和6年度 教育施策の概要】

白神教育長：これについて、何かご指摘やご意見などありませんか。

加藤委員：本年度の主要事業スケジュールを見てビックリしました。行事が沢山あるということは、それだけ準備も大変でしょう。

白神教育長：全部直営でやると非常に苦しい。昔に比べると、生涯学習課の人数も減っているの、昔と同じように出来ない部分もあって、委託とかも考えながら上手く省力化して続けていけるか考えていかないといけないと思っています。

岡本委員：18ページの(5)早島町歴史民俗資料館や戸川家記念館などありますが、なかなか活用されていないのを感じています。町民の人が、資料館とか記念館にどれくらい足を運ばれているかなと考える時があります。どうにか皆さんにアピール出来て、価値あるものだと知らせられるといいなと思います。

白神教育長：歴史民俗資料館は、普段は開いていないのかな。

吉見課長：ご希望があれば、公民館からスタッフがカギを開けて随時見学して頂いています。

白神教育長：戸川家記念館も土日祝日かな。ハヤシネマ等の事業との連携って何か出来るのかな。

吉見課長：ハヤシネマ等の事業は、新しく出来た産業課が所管します。産業課の観光情報発信で、ハヤシネマや観光協会、ALKARE早島のようなことはちょっと見ました。

白神教育長：資料として良いものがあるので、それをどう発信していくか。

加藤委員：昔は早島の特産としたい草でしょ。駅の向こうに「い草のまち早島」と書いた大きな看板を見ながら通勤していた人が、い草畳が好きで早島に家を建てたら、い草をしていなかった。特産物なのだから、早島の子どもがタネを蒔いて育て、それがどうしたら畳になるのか。小さい頃から言葉の情操教育と言うけど、それがどのようなものなのかを植え込んでいったら変わってくると思います。

市橋委員：駅の看板って町が作っているんですか。

岡本委員：城山に昔、畳表早島と書いた大きなネオサインの鉄塔がありました。

市橋委員：駅に今あるのは、花ござのまちと書いてあります。早島ってい草のまちなイメージがありますが、なぜ花ござなのかなと不思議に思っていました。

加藤委員：早島はござのイメージですが、今は熊本が勝ってさみしいです。

芝原課長：平成12年に最後のい草の栽培農家が辞められました。平成13年に有志でい草保存会を立ち上げ田んぼを借りて、冬に植え付け、夏に刈り取り、花ござ手織技術保存会の活動で使ったりしていましたが、指導者の方々の高齢化に伴い会自体がなくなってしまいました。輸入物のい草におされて、い草産業が廃れていって後継者がいなくなった。

岡本委員：戸川記念館に行ってもトイレがない問題もあります。人が来やすいように整備していくことも、観光協会とのタイアップ出来るのではないかと話しに出ていました。

白神教育長：色々な所に出演したり発信してアピール出来れば、支援してくれる人が出るとか、町外の人にも知ってもらえるなど、広がっていくといいなと思います。

栗坂委員：11ページの「私は、周りの友達から自分のよさを認められてると思う児童生徒」で、中学校が頑張っているなと思います。生徒さんがお互いに友達同士の中で自分が認められていると思って、居心地の良い学校になっているんだなと思い、嬉しく思いました。

白神教育長：人権も配慮して色々やって頂き、そういった意識を先生方が持ってやってきて、言葉の節々とか、子どもをさん付けで呼んだり、ジェンダーの問題にも配慮してくれていると思います。

市橋委員：4ページの3歳～5歳の園児数を見ると、今後1学年5クラスが増えそうですね。

白神教育長：その後増えない可能性もありますが、体育館を改築する時には、教室不足も視野に入れてやらないといけないなと思っています。

市橋委員：町内に企業が増えて、アパートを作ってくれという話を聞き、町内にアパートが増えていっているのはうれしい。あと、土曜はやしま塾の利用者数が減っていて、せっかくやっているのに勿体ないなと思いました。

白神教育長：土曜はやしま塾は、大谷荘といぶき荘でやっていたのをやめて、今年度からゆるびの舎ですることになりました。大学生のボランティア指導員も、早島駅からゆるびの舎までだと、歩いて来やすくなっていいかなと思っています。

市橋委員：部活動の地域移行は来年度からでしたか。

吉見課長：一律にはいかないかもしれませんが、一応令和7年度を目標に、受け皿作りが出来るように進めています。運動部では、指導者の取り合いみたいになっていて、指導者確保をどうしていくか、高い報酬を払うことが出来れば来てくれるけど、現実的には予算確保が難しい。いま早島町で考えているのは、平日を地域移行しようと考えています。土日は部活動として、平日は地域クラブとして活動することを検討中で、令和7年度にスタート出来るように準備中です。学校開放の枠組みと、社会教育施設の組み合わせで、活動場所を提供していく。そこに指導者を引っ張って付けられるかだと思っています。

白神教育長：部活動指導員さんはお仕事されている方もいて、人それぞれ指導できる時間も違うので、子ども達や親御さんが許せば、平日の18時以降とか、学校の部活動にはない活動を学校でやる方が、子ども達は嬉しいのかなと思います。試合に出ようと思ったら、学校単位ではないと難しく、ハードルが高くなっている、やはり土日は学校の先生にしてもらわないといけないのかな。生徒も先生も指導員の方も、皆がウインウインな形になれるように、お金が掛かることなので色々検討中です。

吉見課長：ファジアーノが派遣してくださるであろう指導者陣は、得意分野がありますし、レベルの高い指導者はお支払金額も高くなります。クラブの魅力にはなりますが、持続不可能になりますので、地域指導員、先生方の兼職兼任を、このエリアにお住いの学校の先生方に、お勤め先から許可いただき、早島町に参加して頂きたいけど、現実的な壁もあるように聞いていますので、その辺りが難しい所かなと思います。

地域移行をした時に、どのくらいの生徒が残ってくれるのかも、関心を持ってみていきたいと思っています。概要を決めて保護者説明をしますが、親御さんからすると、会費の月額に対してどの程度魅力があるかないか、そのバランスを考えているところです。

(2) その他

- ・全国、県、町学力・学習状況調査【資料説明】
- ・早島町立図書館利用統計報告【資料説明】

3 連絡

貝原課長補佐：教育委員会の予定表で、7月は23日（火）に変更させていただきます。また修正した予定表をメールで送付させていただきますので、ご確認お願い致します。

吉見課長：次回の教育委員会は、5月31日（金）15時から、ゆるびの舎集会室で開催致します。本日はありがとうございました。

4 閉会